

2022 年 （令和 4 年）

2 月 会場・教室案内

火曜は けやきプラザ教室、金曜は 湖北駅前教室(北口)と 湖北台教室(南口)、
水曜は 天王台教室。月曜、木曜は「マナビトラぼ」（我孫子市子ども学習支援教室）

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					



梅の開花の声が静岡や四国で！。

＜梅は秋に休眠して、寒くなると「休眠打破」と目を覚まし、開花するという。青い空に、力強く向き合う姿がりりしい！＞（ 去年の梅の花、）

都立高校入試の「スピーキングテスト」中止！？

来年度から東京で英語の「スピーキングテスト」が入ることになっていたが、中止になった。昨年都内の中学3年生にためのテストが行われていた。やり方は各会場で受験生にヘッドホンとマイクをつけさせて一斉に質問し、返事が録音されるという。私が気になったのは、採点方法で、そのシステムをどうするのと言うことでした。一人一人の答えを機械が聞き取り点数をつけるのですが、受験者は約8万人いて採点は、都がやるのではなくベネッセに「丸投げ」するのだという。

東京の入試はすでにマークシートで行われ、その該当の高校の教員が学校を休みにして点数をつける千葉県とは違う。それで採点が難しいと言われるスピーキングのデリケートな採点を業者に丸投げするという感覚が問われたのである。大学共通一次でも中止になった「事業」で、発表以前から「スピーキングテスト」の是非が英語“業界”では盛んである。

英語の学習は小学校から始まり、成績がつけられ、中学では高校の必修単語と文法が降ろされている。新しい教科書にページ数が増えたのが一目瞭然で、中学の英語の先生は悲鳴を上げている。今回東京の教育委員会へ中止を訴えたのも中学の先生達であった。“おとなしい”中学の先生が行動に立ち上がるのは珍しく、教育委員会も驚いたに違いない。

私の属する英語の研究会で、中学の先生が述べていた。「コロナ下で我慢を強いられ、また高度化した新教科書で、単語、文法事項が増え、教師は追い立てられている。授業について行けず、早々に“諦める”生徒が増えている。このままでは生徒も教師も壊れてしまう」と。（相澤記）

“プラス・ワン賛助会” 財政支援のお願い

自主夜間中学あびこプラス・ワンは、皆様の財政支援による自主運営をめざしています。

会費は郵便振替で下記へお振込み下さい。

1年2千円（一口）です。

振込先 「あびこプラス・ワン賛助会」

加入者番号 00250-2-87357

（手数料のご負担、お願いします）

連絡先：相澤（あいざわ）

でんわ : 090-4240-1975

メール : aizy9242@yahoo.co.jp

ホームページ : abikoplus.web.fc2.com